



学びの秋 活動の秋

雨が多い9月でしたが、ギンモクセイが香り、虫の音が響く季節となりました。前期のまとめをする時期でもあります。ある日の低学年の学級では、係活動について振り返っていました。自分の仕事ぶりに◎を付け、「○○が最後までできたよ。」と胸を張る子供たち。とても頼もしく感じました。自分の行動や学びを客観的に振り返ることが、次の良い活動や学びにつながります。自分に◎が付けることができる子に育てて欲しいと思います。

前期の終わりには、それぞれの学びの足跡である「あらわれ」が配付されます。各教科の観点に照らし、達成していたら○として評価されます。そこに「正確性」「知識の深まりや広まり」「思考の連続性」「工夫した表現」「他者とのかわり」「相手に伝わるように分かりやすく」「今までの学習を活かして」等、教科ごとに求められる「付けたい力」を十分満たすことで、初めて◎が付くことになります。テストの点数だけでなく、授業中の発表内容や記述、技能の習熟度、グループ学習での行動観察、それらを総合的に評価したものが「あらわれ」に記載されています。

個人面談において、担任からお子さんの成長した点をお伝えさせていただきますが、ぜひご家庭でも、お子さんの「あらわれ」に○が付いていたら、「この項目ができるようになったんだね。」とほめてください。



5年生 みどりの学校

行事から学ぶ～友達と一緒に学ぶ～



雨続きの中の晴れ間の2日間。5年生は、「みどりの学校」に行ってきました。

家族と離れての1泊2日。自然の中で、友達と一緒に自然観察、スコアオリエンタリング、キャンプファイヤー、飯盒炊飯を楽しみました。自然観察において、最初は遠巻きに先生の話を聴いていた子供たちが、徐々に自分の摘んだ草花を手に、先生を囲む輪が小さくなっていきました。珍しい草花を見付けることが得意な子や、葉を使って上手に音を出すことができる子がいて、教室とは違ったキラリとした面を見ることができました。

熊対策でコースを縮小したスコアオリエンタリング。グループの友達と相談したり、もめたりしながらも無事、全グループがゴールしました。Eさんからは「オリエンタリングはスピードを競うゲームじゃなくて、協力を競うゲームだよ!」という名言も生まれました。

キャンプファイヤーでは、1組「絆の火」、2組「感謝の火」、3組「協力の火」をいただいた後、大きな炎を囲んで大いに盛り上がりました。飯盒炊飯は、どのグループもおいしいご飯とカレーが完成しました。たった2日間でしたが、子供たちの力でやり遂げた時間は宝物です。ご家庭での入念な準備があったからこそです。ご協力ありがとうございました。



【オリーブの木 贈呈】



日本青年会議所より、オリーブの苗木2本の贈呈がありました。正門横時計台付近に植樹しました。これからの成長が楽しみです。

